

和文化講座

「すべての基本は茶道から日本の伝統文化を今に活かす」

田中 賀鶴代

有限会社 アリカエンタープライズ 代表取締役社長

【内容】

約150年前に西洋式生活のための創案されていた茶道のお点前をご紹介します。現代、茶道とは一部の人の嗜好となっています。

しかし、お茶の世界は別段特別なものでなく、実は普通の生活の所作の中に生きています。

私生活の中での付き合いや、会社でのお客様に対する接客だけでなく、

プレゼンテーションなどにも、その相手を思いやる気持ちを伝える方法として考えることが出来ます。

現代社会に通じる「おもてなしの心」を茶道の歴史からひも解いていきます。なぜ一流と言われる人は「茶道」をたしなむのか？

昔のビジネスマン(武将・商人など)がより良いコミュニケーションとおもてなし術を考え、行き着いたのが茶の湯と考えています。ビジネスだけにとどまらず、海外との様々なコミュニケーションとしても、自国の文化を知っておくことの大切さをお話いただきます。

プロフィール

田中賀鶴代

有限会社アリカエンタープライズ代表取締役

1991 年「和文化の魅力を世界に発信」をコンセプトに講演。

セミナー・イベント・企画サービスを提供する有限会社アリカエンタープライズを設立。

茶の湯の精神をビジネスマナーに取り入れた講演「この方に仕事を任せたいと思っていただける人になるために」「この企業はなぜ茶の湯を学ぶのか」などを年間100回こなす。

国内外でのテーブル茶道「盆略点前(ぼんりゃくでまえ)」の京都市「まちづくり・お宝バンク」のSDGs活動に認定されている。国内外の障害を持った方への茶道の普及にも力をいれている。

2019年から和東茶のサブスク、茶農家とオンライン茶会をはじめ、2022年には京都府「もう一つの京都 観光資源発掘事業」認定され和東茶と京都の伝統工芸をお届けするまで広がっている。

茶道裏千家助教授・一般社団法人SDGs ソーシャルデザイン協会特別講師

京都府文化観光大使・茶源郷*和東PR 大使

京都観光サポーター(京都市)・茶縁Kyoto・車いすおもてなし隊 代表

経済産業省 2024年 J-StarX WSLab 女性起業家海外派遣セミファイナリスト(シリコンバレー)



どうして、一流といわれるひとは茶の湯をたしなむのか

おもてなし

礼儀作法

コミュニケーション

美的感性

大いなる癒し

人間の教養と品格を高める茶の湯と抹茶の効用

おもてなしの意味

「おもてなし」

「御持て成し」

「真心を持って、成し遂げる」

=「持って成し」=「もてなし」

「表なし、裏なし」=「おもてなし」(表裏のない人)

茶道は日本文化を網羅、凝縮した総合芸術

- 茶道は総合芸術

庭、建築、書、絵、竹、塗り、陶器、料理、酒、鉄、
花、など日本の伝統芸術、工芸など日本文化を網羅

天下人の裏に茶の湯あり

茶頭(さどう)の存在

信長公、秀吉公、天下人がなぜ茶の湯を愛したか

臨機応変、変幻自在の精神力を養う

茶道の禅語

一期一会 (いちごいちえ)

喫茶去 (きっさこ)

帰一 (きいつ)

四規

わけいせいじゃく

和 仲の良いこと

敬 ものにも人にも尊敬すること

清 心清らかに

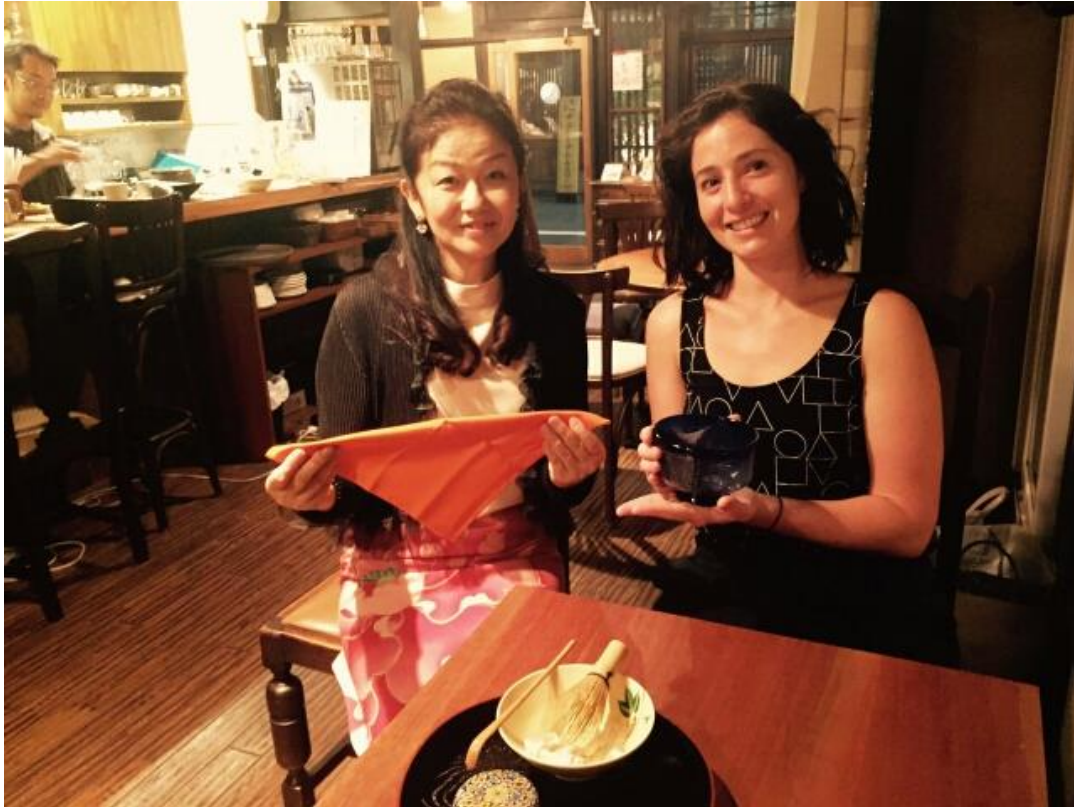
寂 何事にもどうじない心



ビジネスマンの茶道サークル



国際交流のためにできたテーブルでする盆略点前



知の結集 「テーブル茶道 盆略点前」展開例



車いすおもてなし隊

- 2017年10月28日(土)、京都市左京区「岡崎公園」特設野外ステージ(平安神宮前)に行われたNHK主催のイベント『バリコレ2017』の京都市ブース内で、「車いすおもてなし隊」の8名は京都観光おもてなし大使の田中賀鶴代の指導の下、「テーブル茶道 盆略点前」の腕前を披露しました。
- 当日は「なかの孝株式会社」さんの協力でユニヴァーサル着物(車いすユーザーでも簡単に着脱できる着物)を着用し、全員が着物を着てのお点前を披露しました。



ITの実証実験

Knowledge Innovation Award 5th.
ナレッジキャピタル部門エントリーシート ※A3用紙で出力してください。

※当館第8号2巻の裏の1～4ページの項目にご記入ください。※当館事務係の所蔵品、ご本人確認ができていただく場合があります。

※一次送達を受けた作品に同じものは、ご記入頂きましたテキスト・直像をデジタルカメラでの正確な複製に使用させていただきます。

※本アンケートシートに記載された内容については、各種権利関係にご注意ください。いかなる第三者からの異議申し立てや請求がないようお願いいたします。

一方、第三者からの権利侵害、損害賠償などの主張がなされたときは、応募者が自らの責任で対応していただく。主催者側は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

**KNOWLEDGE
CAPITAL
Award**

「テーブルでする益寿点前は、忙しい現代人にとって茶の湯の世界への入り口となり、リラックスできる場からコミュニケーションの場へ、そして心通いを学ぶ場になって、さらに日本人としてのより深い文化教養を身に付け、それを現代社会に活かす。発展へ繋げていく、そんな可能性を秘めた活動であると考えています。そして、大切には、人やモノに敬意を心づらかに、動かない心を持つことを日本のおもてなしビジネスのスピリットと定めています。世界に発信するお手伝いしたい」と考えています。

日タイ修好130周年記念 タイ訪問、呈茶



フォトアルバム

第12回ベトナム・インドネシア・日本コンテストにおける日本文化紹介事業 (2017年12月2日)



品物点前 (於 在タイ日本国大使館) (2017年11月20日)



タイ プミポン前国王のご仏前の前で献茶



プミポン前国王が出家修行をされて、
ご仏前が納められている
ボーウォンニウエート寺にお参りして、
献茶させて頂きました。

お寺の方も献茶することを大変喜んで
下さり、前国王記念のお写真を拝受し
ました。

中国杭州文化創意博覽会にて



海外での活動実績

(関西領事団創立150年記念総会で各領事ご夫妻とともに。伊藤若冲講演茶会)



和文化を学ぶ「また会いたいと言われる人になるため」のヒント

■なぜ今「テーブル茶道 盆略点前(ぼんりゃくてまえ)」？

国際交流のためにつくられた「盆略点前」をマスターして真の国際人になる

この点前は13世円能齋の創案になったもので、茶の間でも洋式の室でも、どこでも手軽にお茶がたてられるように工夫した、非常に応用範囲の広いものです。

～裏千家茶の湯 鈴木宗保・宗幹より抜粋～

「真の国際人になるために」海外の方は交流するときに自国の文化を持っていることを我々に期待しており、文化交流をビジネスやおつきあいで愉しみたいと考えています。

自国の文化を学び、それを発信ができることが真のコミュニケーション。

茶道の世界はもともと戦国時代当時のビジネスの場所であり、おもてなし、礼儀作法、落ち着き、経営指針、コミュニケーション力、美的感性を鍛え教養と品格をたかめます。「創発」「気配り」がどんどんできた人が出世したり、人気がでていきました。私はこの茶道の世界から学ぶべき良いところをビジネスや暮らしに活かし「創発運動」を広げながら、日本を支える「おもてなし接遇マナー」をご提案してまいりたいと思います。

※「創発」とは予想できないことが起こったときに心温まる対応をすること。

利休七則

千利休居士 戦国時代から安土桃山時代時かけての茶人
日本初のクリエイティブ・ディレクター・プロダクト・デザイナー
堺商人(ビジネスマン)、目利き、見立て、キャッチコピーの達人
天下人の茶頭など多彩な活躍

1. 茶は服のよきように点て
2. 炭は湯の沸くように置き
3. 花は野にあるように生け
4. 夏は涼しく冬暖かに
5. 刻限は早めに
6. 降らずとも傘の用意
7. 相客に心せよ